京の旬野菜直売

採れたてを都心でも

地元の旬の野菜を購入してもらおうと、京都市と農業生産法人「こと京都」（伏見区）が26日、都心の地下街、中京区のゼスト御池に「京のこだわり旬野菜直売所」をオープンさせた。初日から多くの客が訪れ、新鮮な野菜を次々と買い求めていた。市農業振興整備課によると、都心部の直売所は賃料や輸送費など経費の問題で常設が難しく、設置は全国的にも珍しいという。【木下武、写真も】

新鮮な野菜を買い求める人たち＝中京区のゼスト御池で

中京のゼスト御池で

運営は市が「こと京都」に委託。地下街のスペース約50平方㍍で市内22軒の登録農家ごとにブースを設け、生産者が自ら値段を設定し、名前と写真を提示して販売する。野菜は、農家ができるだけ農薬や化学肥料を使わずに生産したもので、「こと京都」がその日の朝に農家から集荷して直売所に並べる。

今年度は国の雇用対策で販売や集荷をする従業員2人の人件費が補助されるこ現のきっかけという。来年は毎週金、土の正午～午後業。同4月以的な店舗を構を続けたい考同課の内田補佐は「レベ生産者がそ り、一度買っ ればリピータ はず。消費者 かに聞いて生 できる場にも と話している